

多面的機能支払制度の導入に係る作業のポイント①

(下記①～③についての様式を添付しています。)

① 事前登録 (P 1)

令和6年度 実施を希望する場合は、事前登録様式について、可能な範囲で記載し、1次登録は9月中、最終登録12月中に登録をお願いします。

② 年度活動計画 (P 2～12)

資料P 2～12を参照とし、P 2の様式において必須活動等についての年度活動計画書を作成してください。

③ 計画図の作成 (P 13)

交付金の対象となる農地を決める必要があります。図面に対象とする農地を記入していただきます。地域で農地として維持することが難しい農地等は外してください。耕作されている場合(年1回以上の草刈を含む)等はすべて対象にできます。

電子データ化等の作業は市役所でサポート実施します。

.....上記①、②は、概ね9月末(最終は12月末)までに作成.....

③の地元作成図は遅くとも12月末までに作成。

.....下記④、⑤、⑥、⑦は、概ね3月末までに作成.....

④ 規約 (P 14～18)

規約を作成する必要があります。ひな型を利用すれば、簡単に書類を作成することができます。

⑤ 規約別紙_構成員一覧 (P 19～20)

規約に添付する構成員名簿です。町内会名簿及び農家組合名簿があれば比較的スムーズに作成できます。

⑥ 活動計画書の作成 (P 21～25)

既に地域で行っている活動を記載して、要件を確認し、クリアできていない活動について、追加検討をすることになります。恐らく、既に地域で活動していることが多いと思いますので、それらを計画に位置付けてください。

⑦設立総会の開催（設立総会素案 参照）

3月中に（遅くとも4月中）、規約、活動計画書、日当等の支払いルールを総会で承認を得る必要があります。ひな型があります。 町内会の総会の後に開催する形でもOKです。

本交付金からの支払う日当等の支払いルールを事前に決める必要があります。初年度は、現行の地域のルールに合わせる方法で2年目以降状況に応じて変更していくことでいいと思います。（ガイドラインを参照してください。）

*令和6年度から導入する場合には、上記の準備及び実施が必要です。但し、国の締切が6月末となっており、県及び市の審査期間を確保して、市の締切は概ね5月上旬とする予定です。期限については地区の熟度にもよることから詳細については相談してください。

地区採択・交付金の交付は8月になる見込みですが、4月以降の活動については、活動記録、金銭出納簿等の作成をしておく必要があります。

*その他、各種関係様式、市内の取組状況については、

岡山市HP <http://www.city.okayama.jp/keizai/nourin/index.html>

に掲載していますので、ご参照ください。

多面的機能支払交付金制度の主な活動内容と要件について（令和4年度）

項目	活動内容		
農地維持支払交付金	1. 地域資源の基礎的な保全活動	①点検	地域内の活動計画書に位置づけた農用地、水路、農道、ため池全てを点検
		②年度計画策定	点検結果に基づき、草刈り等が必要な箇所の計画を策定。
		③実践活動	年度計画に基づき、草刈り等の活動を実施。但し、草刈り、施設見回り等の最低限実施の項目があり。
		④研修	組織運営、作業安全に関する研修を活動期間内に各1回以上受講する。
	※①～③は活動期間中毎年度実施		
	2. 地域資源の適切な保全管理のための推進活動	①目標の設定	水路、農道、ため池等の地域資源の保全管理の目標を設定。
		②取組の実施	目標の実現に向けた取り組みを毎年度実施。
		③地域資源保全管理構想の策定	地域内にある農地や水路、農道等の今後の保全管理について役割分担を定め、継続して維持していくための方向性について考えをまとめ、構想を策定。
	※②は活動期間中毎年度実施 →活動期間中3年目に構想（案）、終了年度（5年目）に構想を策定		
	資源向上支払交付金	1. 施設の軽微な補修	①機能診断
②年度計画策定			機能診断結果に基づき、地域で対応可能な軽微な補修計画を策定。
③実践活動			機能診断結果を反映した年度活動計画に基づき、必要に応じて地域自ら軽微な補修等の活動を実施。
④研修			機能診断・補修技術等に関する研修を活動期間内に1回以上受講する。
※①～③は活動期間中毎年度実施			
2. 農村環境保全活動		①計画策定	地域内での必要な活動内容を検討し、テーマを選定。
		②啓発・普及	テーマに即した啓発・普及活動を実施。（例）パンフレットの作成・頒布、看板の設置、地域住民との交流活動など。
		③実践活動	テーマに即した実践活動を実施。
※①～③は活動期間中毎年度実施			
3. 多面的機能の増進を図る活動		①取組の実施	地域内での必要な活動内容を検討し、それを含む活動項目を選定し、増進を図る多面的機能を選定し、実施。
	②広報活動	テーマに即した広報活動を実施。（例：パンフレット、機関誌等の作成、看板の設置など）	
※①～②は活動期間中毎年度実施			
中間評価	自己評価・市町村評価	①自己評価	各組織において実施した地域資源の適切な保全管理のための推進活動と多面的機能の増進を図る活動について、国の規定の様式にて自己評価を行います。
		②市町村評価	各組織の自己評価に基づき、市において評価を行います。
	※①～②は活動期間中の2年目と4年目に実施		

多面的機能支払制度導入に係る事前登録書
～活動組織用～

○協定書

当面の連絡先:氏名:○○ ○○

電話番号:086-803-1000

基本事項	活動組織名称		○○○○地域資源保全会	仮称でOK
	活動範囲		岡山市北区○○町内	小学校区、町内会等の大まかなでOK
	主たる事務所		○○公会堂	事務局の住所(組織名又は○○宅等)
活動対象	農地面積	20	ha	可能な範囲でOK(畑、樹園地の有無) 詳細な数量は、図面作成の際に精査しますので、概数でOKです。
	水路延長	7.5	km	
	農道延長	3	km	
	ため池数	3	箇所	
参加者	集落数		1	集落
	集落名		○○町内会	
	農業者数		30	活動に参加する非農家いる集落名を記載
	農業者以外の人数		50	人数又は入り作者の有無
	団体名		町内会、子供会、老人会、土地改良区	町内会、婦人会、NPO、企業等
役員	代表	1名	○○ ○○	氏名(○○町内会長)の様に記載
	副代表	1名	△△ △△	代表の補佐
	書記	2名	●● ●●、▲▲ ▲▲	活動に必要な総会の事務等
	会計	2名	□□ □□、☆☆ ☆☆	経理事務者及び通帳管理等複数名が望ましい
	監査役	1名	■ ■	2名程度
	役員	1名	★★ ★★	各活動のリーダー等

○活動計画書

中山間地域等直接支払との重複面積		1400	a	
異常気象時の対応		大雨、洪水、暴風の発生や大規模な地震等により、施設への被害が想定される場合とする。	他地区と同じ記載とします。	
農地維持	構造変化に対応した保全管理	目標	地域住民の参画、地域外団体や都市住民等との連携を図り、地域外を含め多様な地域資源管理の担い手の確保により保全管理を図る。	資料P8を参照。
		保全管理の内容	農業者、地域住民等が担う共同利用施設の保全管理	資料P9を参照。
		取組方向	地域住民、土地持ち非農家等を含めた体制づくり、活動の実施	資料P10を参照。
		取組内容	農業者(入り作農家、土地持ち非農家を含む)による検討会	資料P11を参照。
資源向上	農村環境保全活動	テーマ	景観形成・生活環境保全	資料P5を参照。
		啓発・普及	広報誌の作成、頒布	資料P5を参照。
		実践活動	植栽等の景観形成活動	資料P5を参照。
	多面的機能の増進を図る活動	取組	鳥獣被害防止対策及び環境改善活動の強化	資料P6を参照。
		具体的な内容	鳥獣害対策施設の設置	資料P6を参照。
		広報活動	広報看板の設置	資料P6を参照。

○その他特記事項

・役員の任期:	○年又は○年○月○日まで
・総会開催時期:	毎年○月予定(年1回以上)
・総会の開催方法:	構成員による開催又は総代制による開催
・総会の議決方法:	「構成員の過半数」又は「各町内会の構成員1票から町内会としての議決を行い、各町内会、団体のそれぞれ1票の過半数」

地域活動内容				要件確認																						
実施月	場所施設	活動項目番号	参加予定者	人数（人）	予算額（千円）	備考	農地維持活動												資源向上活動							
							基礎的保全活動												施設の軽微な補修		農村環境保全活動		多面的機能の増進を図る活動			
							実践活動												機能診断		年度計画の策定		実践活動		実践活動	
							点検 計画策定	農用地			水路			農道			ため池			保全管理の推進活動		機能診断 計画策定		実践活動 計画策定		啓発・普及 実践活動
点検	① 保全管理	② 草刈	③ 施設の適正管理	④ 異常気象時の対応	① 草刈	② 泥上げ	③ 施設の適正管理	④ 異常気象時の対応	① 草刈	② 側溝泥上げ	③ 施設の適正管理	④ 異常気象時の対応	① 草刈	② 泥上げ	③ 付帯施設の適正管理	④ 異常気象時の対応	機能診断	年度計画の策定	実践活動	計画策定	啓発・普及	実践活動	実践活動	実践活動		
4	全域	1、4、24~27	点検・機能診断、遊休農地発生防止のための保全管理	役員																						
4	全域	2、28	年度活動計画の策定	役員																						
4	農村環境保全活動	36	景観形成のための植栽活動の計画策定	役員																						
4	地域資源の適切な保全管理のための推進活動	20	地域住民等との意見交換・ワークショップ・交流会の開催	役員・構成員																						
5~7	水路	7	水路の草刈り	農家・町内会																						
5~7	水路	31	水路の補修	農家・町内会																						
4~6	農用地	5	農用地の畦畔・法面の草刈り	農家																						
4~6	農道	10	農道の草刈り	農家																						
5~7	水路、農道	8、11	水路の泥上げ、農道側溝の泥上げ	農家・町内会																						
7	多面的機能の増進を図る活動	53	鳥獣被害防止対策及び環境改善活動の強化	農家・非農家																						
7	多面的機能の増進を図る活動	60	広報活動（伐採に関する広報看板の設置）	役員・農家																						
10	農村環境保全活動	45	植栽等の景観形成活動	役員																						
12	農村環境保全活動	51	啓発・普及（広報誌の作成・回覧）	役員																						
1~3	ため池	13	ため池の草刈り	農家・町内会																						
	全域	16	異常気象時の対応（前後の見回り、応急措置）	役員																						

活動項目番号を記載して下さい。

※活動場所を特定せず、対象農用地全域で実施する場合は「全域」と記入する。

○総会の開催時期

総会の開催時期（場所）	3月（○○公会堂）
-------------	-----------

○研修の受講時期

農地維持活動 基礎的保全活動	令和 5 年
資源向上活動 施設の軽微な補修	令和 5 年

○保全管理の推進活動の内容

- 農業者（入り作農家、土地持ち非農家を含む）による検討会の開催
- 農業者に対する意向調査、農業者による現地調査
- 不在村地主との連絡体制の整備、調整、それに必要な調査
- 地域住民等（集落外の住民・組織等も含む）との意見交換・ワークショップ・交流会の開催
- 地域住民等に対する意向調査、地域住民等との集落内調査
- 有識者等による研修会、有識者を交えた検討会
- その他（地域の実情に応じて対象組織が具体的に設定）

時期	内容	参加予定者
4月	地域住民等との意見交換・ワークショップ・交流会の開催	役員・構成員

○農村環境保全活動

テーマ	<input type="checkbox"/> 生態系保全 <input type="checkbox"/> 水質保全 <input checked="" type="checkbox"/> 景観形成・生活環境保全
啓発・普及	<input type="checkbox"/> 水田貯留機能増進・地下水かん養 <input type="checkbox"/> 資源循環
実践活動	広報誌の作成・回覧 植栽等の景観形成活動

○多面的機能の増進を図る活動

テーマ	<input type="checkbox"/> 遊休農地の有効活用 <input checked="" type="checkbox"/> 鳥獣被害防止対策及び環境改善活動の強化
広報活動	<input type="checkbox"/> 地域住民による直営施工 <input type="checkbox"/> 防災・減災力の強化
活動内容	<input type="checkbox"/> 農村環境保全活動の幅広い展開 <input type="checkbox"/> やすらぎ・福祉及び教育機能の活用
参加予定者	<input type="checkbox"/> 農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化 伐採に関する広報看板の設置 鳥獣被害防止対策及び環境改善活動の強化（支障竹林の伐採） 構成員

(1) 地域資源の基礎的な保全活動

活動区分		活動項目(番号)	活動内容	要件
点検・計画策定	点検	1 点検	<input type="checkbox"/> 遊休農地等の発生状況の把握（農用地に関する取組） <input type="checkbox"/> 施設の点検（水路、農道、ため池に関する取組）	活動計画書に位置付けた農用地、施設について毎年度実施
	計画策定	2 年度活動計画の策定	<input type="checkbox"/> 年度活動計画の策定（点検・機能診断結果も踏まえて実践活動の計画策定）	
研修		3 組織運営、作業安全に関する研修	<input type="checkbox"/> 活動に関する事務や組織の運営に関する研修 <input type="checkbox"/> 機械の安全使用に関する研修	活動期間中各1回以上実施
実践活動	農用地	4 遊休農地発生防止のための保安全管理	<input type="checkbox"/> 耕作可能な状態に保安全管理すること	活動計画書に位置付けた農用地、施設について毎年度実施
		5 畦畔・法面・防風林の草刈り	<input type="checkbox"/> 畦畔・農用地法面の等の草刈り <input type="checkbox"/> 防風林の枝払い・下草の草刈り	
		6 鳥獣害防護柵等の保守管理	<input type="checkbox"/> 鳥獣害防護柵の適正管理 <input type="checkbox"/> 防風ネットの適正管理	
	水路（開水路・パイプライン）	7 水路の草刈り	<input type="checkbox"/> 水路の草刈り <input type="checkbox"/> ポンプ場、調整施設等の草刈り	
		8 水路の泥上げ	<input type="checkbox"/> 水路の泥上げ <input type="checkbox"/> ポンプ吸水槽等の泥上げ	
		9 水路附带施設の保守管理	<input type="checkbox"/> かんがい期前の注油 <input type="checkbox"/> ゲート類の保守管理 <input type="checkbox"/> 遮光施設の適正管理 <input type="checkbox"/> 安全施設の適正管理 <input type="checkbox"/> 配水操作	
	農道	10 農道の草刈り	<input type="checkbox"/> 農道の草刈り	
		11 農道側溝の泥上げ	<input type="checkbox"/> 農道側溝の泥上げ	
		12 路面の維持	<input type="checkbox"/> 路面の維持 <input type="checkbox"/> 安全施設の適正管理	
	ため池	13 ため池の草刈り	<input type="checkbox"/> ため池の草刈り	
		14 ため池の泥上げ	<input type="checkbox"/> ため池の泥上げ	
		15 ため池附带施設の保守管理	<input type="checkbox"/> かんがい期前の施設の清掃・除塵 <input type="checkbox"/> 管理道路の管理 <input type="checkbox"/> 遮光施設の適正管理 <input type="checkbox"/> ゲート類の保守管理 <input type="checkbox"/> 安全施設の適正管理	
	共通	16 異常気象時の対応	<input type="checkbox"/> 異常気象前・後の見回り <input type="checkbox"/> 異常気象前・後の応急措置	

(2) 地域資源の適切な保安全管理のための推進活動

活動区分	活動項目(番号)	要件
地域資源の適切な保安全管理のための推進活動	17 農業者（入り作農家、土地持ち非農家を含む）による検討会の開催	取組を選択し、毎年度実施
	18 農業者に対する意向調査、農業者による現地調査	
	19 不在村地主との連絡体制の整備、調整、それに必要な調査	
	20 地域住民等（集落外の住民・組織等も含む）との意見交換・ワークショップ・交流会の開催	
	21 地域住民等に対する意向調査、地域住民等との集落内調査	
	22 有識者等による研修会、有識者を交えた検討会の開催	
	23 その他（地域の実情に応じて対象組織が具体的に設定）	

(1) 施設の軽微な補修

活動区分		活動項目(番号)	活動内容		要件
機能診断・計画策定	機能診断	24 農用地の機能診断	<input type="checkbox"/> 施設の機能診断	<input type="checkbox"/> 診断結果の記録管理	活動計画書に位置付けた農用地、施設について毎年度実施
		25 水路の機能診断	<input type="checkbox"/> 施設の機能診断	<input type="checkbox"/> 診断結果の記録管理	
		26 農道の機能診断	<input type="checkbox"/> 施設の機能診断	<input type="checkbox"/> 診断結果の記録管理	
		27 ため池の機能診断	<input type="checkbox"/> 施設の機能診断	<input type="checkbox"/> 診断結果の記録管理	
	計画策定	28 年度活動計画の策定	<input type="checkbox"/> 年度活動計画の策定 (機能診断結果も踏まえて実践活動の計画策定)		
研修		29 機能診断・補修技術等に関する研修	<input type="checkbox"/> 対象組織による自主的な機能診断及び簡単な補修に関する研修 <input type="checkbox"/> 老朽化が進む施設の長寿命化のための補修、更新等に関する研修 <input type="checkbox"/> 農業用水の保全、農地の保全や地域環境の保全に資する新たな施設の設置等に関する研修		活動期間中1回以上実施
実践活動	農用地	30 農用地の軽微な補修等	畦畔・法面等	<input type="checkbox"/> 畦畔の再構築 <input type="checkbox"/> 農用地法面の初期補修	活動計画書に位置付けた全ての施設等について必要な取組を毎年度実施 ※機能診断結果に基づいて実施の必要性を判断し、必要に応じて実施
			施設	<input type="checkbox"/> 暗渠施設の清掃 <input type="checkbox"/> 農用地の除れき <input type="checkbox"/> 鳥獣害防護柵の補修・設置 <input type="checkbox"/> 防風ネットの補修 <input type="checkbox"/> きめ細やかな雑草対策	
	水路	31 水路の軽微な補修等	水路	<input type="checkbox"/> 水路側壁のはらみ修正 <input type="checkbox"/> 目地詰め <input type="checkbox"/> 表面劣化に対するコーティング等 <input type="checkbox"/> 不同沈下に対する早期対応 <input type="checkbox"/> 側壁の裏込材の充填、水路畦畔の補修 <input type="checkbox"/> 水路に付着した藻等の除去 <input type="checkbox"/> 水路法面の初期補修 <input type="checkbox"/> 破損施設の補修 <input type="checkbox"/> きめ細やかな雑草対策 <input type="checkbox"/> パイプラインの破損施設の補修 <input type="checkbox"/> パイプ内の清掃	
			附帯施設	<input type="checkbox"/> 給水栓ボックス基礎部の補強 <input type="checkbox"/> 破損施設の補修 <input type="checkbox"/> 給水栓に対する凍結防止対策 <input type="checkbox"/> 空気弁等への腐食防止剤の塗布等 <input type="checkbox"/> 遮光施設の補修等	
			農道	<input type="checkbox"/> 路肩、法面の初期補修 <input type="checkbox"/> 軌道等の運搬施設の維持補修 <input type="checkbox"/> 破損施設の補修 <input type="checkbox"/> きめ細やかな雑草対策	
	農道	32 農道の軽微な補修等	附帯施設	<input type="checkbox"/> 側溝の目地詰め <input type="checkbox"/> 側溝の不同沈下への早期対応 <input type="checkbox"/> 側溝の裏込材の充填 <input type="checkbox"/> 破損施設の補修	
			ため池	33 ため池の軽微な補修等	
			附帯施設		

(2) 農村環境保全活動

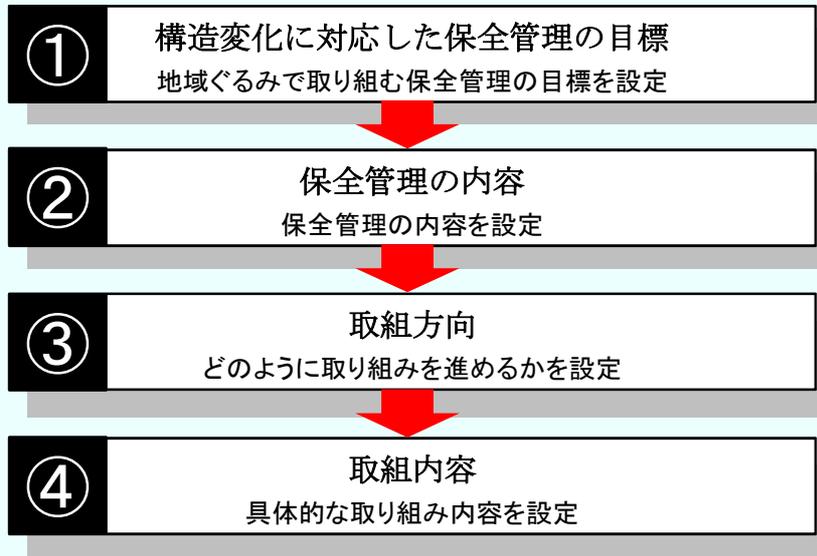
活動区分	活動項目(番号)	活動内容	要件
	テーマ		
計画策定	生態系保全 34 生物多様性保全計画の策定	<input type="checkbox"/> 生物多様性保全計画の策定	取組テーマを選択し、 計画策定 実践活動 啓発・普及 を毎年度実施
	水質保全 35 水質保全計画、 農地保全計画の策定	<input type="checkbox"/> 水質保全計画の策定 <input type="checkbox"/> 農地の保全に係る計画の策定	
	景観形成・ 生活環境保全 36 景観形成計画・ 生活環境保全計画の策定	<input type="checkbox"/> 景観形成・生活環境保全計画の策定	
	水田貯留機能 増進・ 地下水かん養 37 水田貯留機能増進計画、 地下水かん養活動計画の策定	<input type="checkbox"/> 水田貯留機能増進に係る地域計画の策定 <input type="checkbox"/> 地下水かん養に係る地域計画の策定	
	資源循環 38 資源循環計画の策定	<input type="checkbox"/> 資源循環に係る地域計画の策定	
実践活動	生態系保全 39 生物の生息状況の把握	<input type="checkbox"/> 生物の生息状況の把握	
	生態系保全 40 外来種の駆除	<input type="checkbox"/> 生物多様性保全のため、外来の魚類等を駆除	
	生態系保全 41 その他（生態系保全）	<input type="checkbox"/> 生物多様性保全に配慮した施設の適正管理 <input type="checkbox"/> 水田を活用した生息環境の提供 <input type="checkbox"/> 生物の生活史を考慮した適正管理 <input type="checkbox"/> 放流・植栽を通じた在来生物の育成 <input type="checkbox"/> 希少種の監視	
	水質保全 42 水質モニタリングの実施・ 記録管理	<input type="checkbox"/> 水質モニタリングの実施・記録管理	
		43 畑からの土砂流出対策	
		44 その他（水質保全）	<input type="checkbox"/> 水質保全を考慮した施設の適正管理 <input type="checkbox"/> 水田からの排水（濁水）管理 <input type="checkbox"/> 循環かんがいの実施 <input type="checkbox"/> 非かんがい期における通水 <input type="checkbox"/> 管理作業の省力化による水資源の保全
	景観形成・ 生活環境保全 45 植栽等の景観形成活動	<input type="checkbox"/> 景観形成のための施設への植栽等 <input type="checkbox"/> 農用地等を活用した景観形成活動	
		46 施設等の定期的な巡回 点検・清掃	<input type="checkbox"/> 施設等の定期的な巡回点検・清掃
		47 その他 （景観形成・生活環境保全）	<input type="checkbox"/> 農業用水の地域用水としての利用・管理 <input type="checkbox"/> 伝統的施設や農法の保全・実施 <input type="checkbox"/> 農用地から風塵の防止活動
	水田貯留機能 増進・ 地下水かん養 48 水田の貯留機能向上活動	<input type="checkbox"/> 水田の貯留機能向上のための活動	
49 水田の地下水かん養機能向上 水源かん養林の保全		<input type="checkbox"/> 水田の地下水かん養機能向上活動 <input type="checkbox"/> 水源かん養林の保全	
資源循環 50 地域資源の活用・ 資源循環活動	<input type="checkbox"/> 地域資源の活用・資源循環のための活動		
啓発・普及 51 啓発・普及活動	<ul style="list-style-type: none"> ①広報活動、啓発活動に関する取組内容 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>広報活動（広報誌等の作成・頒布、看板設置等） <input type="checkbox"/>啓発活動（有識者の指導、勉強会等） ②地域住民との交流活動、学校教育、行政機関等との連携に関する取組内容 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>地域住民等との交流活動 <input type="checkbox"/>学校教育等との連携 <input type="checkbox"/>行政機関等との連携 ③地域内の規制等の取り決めに関する取組内容 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>地域内の規制等の取り決め 		

(3) 多面的機能の増進を図る活動

活動区分	活動項目(番号)	活動内容	増進する多面的機能	要件
実践活動	52 遊休農地の有効活用	□地域内外からの営農者の確保、地域住民による活用、企業と連携した特産物の作付等、 遊休農地の有効活用のための活動	国土保全、水源のかん養	取組みを選択し 毎年度実施 (1取組み以上)
	53 鳥獣被害防止対策及び環境改善活動の強化	□鳥獣被害防止のための対策施設の設置や鳥獣緩衝帯の整備・保管理、農地周りの藪等の伐採、農地への侵入竹等の防止等、 農地利用や地域環境の改善のための活動	国土保全、水源のかん養	
	54 地域住民による直営施工	□農業者・地域住民が直接参加した施設の補修や環境保全施設の設置、そのための技術習得等、 地域住民が参加した直営施工による活動	国土保全、水源のかん養 自然環境保全 景観形成	
	55 防災・減災力の強化	□水田やため池の雨水貯留機能の活用、危険ため池の管理体制の整備・強化、災害時における応急体制の整備等、 地域が一体となった防災・減災力の強化のための活動	国土保全	
	56 農村環境保全活動の幅広い展開	□農地等の環境資源としての役割を活かした、景観の形成、生態系の保全・再生等、 農村環境の良好な保全に向けた幅広い活動 (地域資源の質的向上を図る共同活動において取組まれる農村環境保全活動に加えて、1テーマを選択し、農村環境保全活動を実施する対象組織が対象)	自然環境保全 景観形成	
	57 やすらぎ・福祉及び教育機能の活用	□地域の医療・福祉施設等との連携を強化する活動や、地域内外の法人、専門家等と連携した、 地域資源の有するやすらぎや教育の場としての機能増進を図る活動	保健休養	
	58 農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化	□農村特有の景観や文化を形成してきた伝統的な農業技術、農業に由来する伝統行事の継承等、 文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化に資する活動	文化の伝承	
	59 都道府県、市町村が特に認める活動	□都道府県が策定した地域活動指針において、 地域の多様な実態を踏まえて追加した取組についての活動	文化の伝承	
広報活動	60 広報活動・農的人口の拡大	□多面的機能支払交付金の活動に対する多様な主体の参画を促進するために、 パンフレット、機関誌等の作成・頒布、看板の設置、インターネットのホームページ開設・更新等の活動		選択した活動に係る広報活動を毎年度実施
その他	200 事務処理	□事務作業関連や活動に必要な物品の購入等		
	300 会議など	□役員会、総会等		

地域資源の適切な保全管理のための推進活動

地域の営農状況や都市化の状況等を勘察し、自分たちの地域における将来の水路、農道等の地域資源の保全管理の方法を目標として設定し、目標の実現のための活動を検討・設定。



地域資源保全管理構想について

「地域資源保全管理構想」とは、それぞれの地域で守ってきた農用地や水路、農道等の地域資源を将来にわたってどのように引き継いで行けば良いのかを地域で話し合い、今後の課題や取り組むべき活動・方策について、活動期間中に構想としてとりまとめるものです。

※3年目（中間年）に構想（案）、5年目に地域資源保全管理構想をとりまとめる必要があります。

地域資源保全管理構想の項目について

- (1) 地域で保全管理していく農用地及び施設
- (2) 地域の共同活動で行う保全管理活動
- (3) 地域の共同活動の実施体制
- (4) 地域農業の担い手の育成・確保
- (5) 適切な保全管理に向けて取り組む活動・方策



- 地域内の中心経営体の育成・確保、農地集積を図り、中心経営体との役割分担や労力補完により保全管理を図る。

【中心経営体型】

「人・農地プラン」の「今後の地域の中心となる経営体」に相当する経営体である「中心経営体」との役割分担や労力補完を図る地域等が該当

- 集落営農組織の構築・充実等を図り、集落を基礎とした農業生産体制の整備と合わせた地域ぐるみの保全管理を図る。

【集落ぐるみ型】

多数の小規模農家、兼業農家等が参画する形での集落単位の営農と一体的あるいは連携した取組を図る地域等が該当

- 地域外の農業生産法人や認定農業者等への農地集積を図り、地域外の経営体との協力・役割分担により保全管理を図る。

【地域外経営体連携型】

地域外の大規模経営体等の入り作者と地域内の農業者との連携を図る地域等が該当

- 広域的な農地利用の調整、近隣集落との連携、旧村や水系単位等での連携を図り、集落間の相互の労力補完や広域的な活動により保全管理を図る。

【集落間・広域連携型】

活力ある周辺集落との連携、複数集落で個々の集落を広域的に支え合う体制の構築を図る地域等が該当

-  地域住民の参画、地域外の団体や都市住民等との連携を図り、地域外を含め多様な地域資源管理の担い手の確保により保全管理を図る。

【多様な参画・連携型】

資源向上支払で多様な主体の参画による保全管理を進める地域や、NPO法人、企業等との連携により農業生産の継続を図る地域等が該当

- その他（地域の実情に応じて対象組織が具体的に設定）



② 保全管理の内容	今後、地域資源の適切な保全管理を図っていくため、地域で取り組んでいくべき保全管理の内容を選択する。
-----------	---

- 農地の利用集積の進展に伴う農用地に係る管理作業
- 高齢化の進行に伴う高齢農家の農用地に係る管理作業
- 不在村地主等の遊休農地に係る管理作業
- 農業者、地域住民等が担う共同利用施設の保全管理
- その他（地域の実情に応じて対象組織が具体的に設定）



③ 取組方向	②の保全管理に取り組むために、今後進めていく取組の方向性を選択する。
--------	------------------------------------

- 担い手との連携強化、担い手の人材・機材を有効活用した活動の実施
- 入り作等の近隣の担い手との協力・役割分担に基づく活動の実施
- 地域住民、土地持ち非農家等を含めた体制づくり、活動の実施
- 地域住民、新規・定年就農者等、新たな保全管理の担い手の確保
- 不在村地主との連絡・調整体制の構築、遊休農地等の有効活用
- 隣接集落との連携による相互の労力補完、広域的な活動の実施
- その他（地域の実情に応じて対象組織が具体的に設定）



④ 取組内容	②の保全管理に取り組むために行う活動項目について選択する。
--------	-------------------------------

- 農業者（入り作農家、土地持ち非農家を含む）による検討会の開催
- 農業者に対する意向調査、農業者による現地調査
- 不在村地主との連絡体制の整備、調整、それに必要な調査
- 地域住民等（集落外の住民・組織等も含む）との意見交換会・ワークショップ・交流会の開催
- 地域住民等に対する意向調査、地域住民等との集落内調査
- 有識者等による研修会、有識者を交えた検討会の開催
- その他（地域の実情に応じて対象組織が具体的に設定）

以下は市町村担当者と相談の上、記入してください。

集落数 集落
 農業地域類型 都市的地域 平地農業地域 中間農業地域 山間農業地域
 地域振興立法の適用 特定農山村 振興山村 過疎 半島
 離島 沖縄 奄美群島 小笠原諸島
 指定棚田地域の該当状況
 交付金算定の対象としている農振農用地区域外の対象農用地面積
 農地維持支払 a 資源向上支払 (共同) a 資源向上支払 (長寿命化) a

3. 活動の計画

(1) 農地維持支払

★実施する月に○を記入してください。

活動区分	活動項目	毎年度の実施時期												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
点検・ 計画策定	1 点検													
	2 年度活動計画の策定													
研修	3 事務・組織運営等に関する研修、 機械の安全使用に関する研修	令和3年度～令和7年度の間で各1回以上受講（※1年間内に各1回以上受講）												
実践活動	農 用 地	4 遊休農地発生防止のための保安全管理												
		5 畦畔・法面・防風林の草刈り												
		6 鳥獣害防護柵等の保守管理	点検結果に応じて実施時期を決定											
	水 路	7 水路の草刈り												
		8 水路の泥上げ												
		9 水路附帯施設の保守管理	点検結果に応じて実施時期を決定											
	農 道	10 農道の草刈り												
		11 農道側溝の泥上げ	点検結果に応じて実施時期を決定											
		12 路面の維持	点検結果に応じて実施時期を決定											
	た め 池	13 ため池の草刈り												
		14 ため池の泥上げ	点検結果に応じて実施時期を決定											
		15 ため池附帯施設の保守管理	点検結果に応じて実施時期を決定											
	共 通	16 異常気象時の対応	洪水、台風等の発生前。洪水、台風、地震等の発生後											
	地域資源の適切な保安全管理のための推進活動													

地域資源の適切な保安全管理のための推進活動について、1)～4)を記入してください。

1) 保安全管理の目標を①～⑥から選んでください。(複数選択可)

<input type="checkbox"/> ①中心経営体との役割分担による保安全管理	<input type="checkbox"/> ④集落間連携や広域的活動による保安全管理
<input type="checkbox"/> ②集落営農組織を基礎とした地域ぐるみの保安全管理	<input checked="" type="radio"/> ⑤多様な地域資源管理の担い手による保安全管理
<input type="checkbox"/> ③地域外の経営体との協力・役割分担による保安全管理	<input type="checkbox"/> ⑥その他 <input type="text"/>

☺ ※取組みやすい項目です。

〇〇地区地域資源保全管理構想

(〇年〇月作成)

1. 地域で保全管理していく農用地及び施設

- (1) 農用地
- (2) 水路、農道、ため池
- (3) その他施設等

・対象とする農用地、施設の範囲、数量、位置を記載する。
・「その他施設等」には、鳥獣害防止施設、防風林等その他の地域で保全管理していく施設について記載する。

2. 地域の共同活動で行う保全管理活動

- (1) 農用地について行う活動
- (2) 水路、農道、ため池について行う活動
- (3) その他施設について行う活動

・対象とする活動の範囲、内容を記載する。

3. 地域の共同活動の実施体制

- (1) 組織の構成員、意思決定方法
- (2) 構成員の役割分担
 - ① 農用地について行う活動
 - ② 水路、農道、ため池について行う活動
 - ③ その他施設について行う活動

・担い手農家、それ以外の農家、土地持ち非農家、地域住民等の参画等を記載する。

4. 地域農業の担い手の育成・確保

- (1) 担い手農家の育成・確保
- (2) 農地の利用集積

・人・農地プラン等を基に、担い手農家、農地集積の現状及び目標を記載する。

5. 適切な保全管理に向けて取り組む活動・方策

・作成後5年程度を見通し、今後の課題、目指すべき姿、そのために取り組むべき活動・方策を記載する。

(取り組むべき活動・方策の例)

- ・組織体制の強化や活動の拡大を図るための広域組織化やNPO法人化
- ・農地や施設、地域環境を保全するための農地周辺部の活動拡大や遊休農地の有効利用
- ・地域を守る取組の魅力を情報発信する活動、活動への新たな参画者を募る活動
- ・地域の景観・環境の維持等、地域資源の魅力を高め、関心を高める活動
- ・保全管理の省力化のための簡易な基盤整備や機械化、保全管理に必要な施設整備

※ ため池やその他施設等は、該当がない場合は、項目を削除する。

